

創立43年



本町小だより

令和7年度12月号 令和7年12月1日(月)発行

和光市立本町小学校

TEL 466-0855 Fax 466-0894

Email:honcho@wako-city.ed.jp

共に育ち、共に栄える地域連携 ～鮮魚タッチイベントによせて～

校長 木村 美香

師走に入り、冬の寒さも本格的になってまいりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、子どもたちの豊かな成長には、学校内での学びだけでなく、地域社会全体で支え育む活動が不可欠です。

「地域学校協働活動」という言葉をご存知でしょうか。

これは、学校を核として、保護者、地域住民の皆様、様々な団体が連携・協働し、子どもたちの成長を社会全体で支援していく取り組みです。具体的には、学校が必要としている多様な人材や資源を地域から提供してもらい、学校運営や教育活動を共に創り上げていくことを目指しています。学校と地域がパートナーとして手を取り合うイメージです。

この活動は、子どもたちの成長に繋がるだけでなく、地域コミュニティそのものにも大きなメリットをもたらします。学校を拠点に多世代が交流することで、地域の絆が深まり、活力あるコミュニティの維持・発展に繋がるのです。

12月16日(火) 10時～14時に実施を予定している「鮮魚タッチプログラム」は、まさにこの「地域と共に学ぶ」姿勢を体現する素晴らしい機会です。

本イベントは、魚食普及推進センター様によるプログラムを活用し、地元のベルク西大和店様から市場直送の新鮮な魚を運んでいただくことで実現します。

そして、この企画の実現に向けて、最も大きな原動力となったのが、**地域学校協働本部**のコーディネーターの方の存在です。コーディネーターの方の熱意とネットワークのおかげで、学校だけでは実現困難であったこの貴重な体験学習が、形になろうとしています。当日は、魚の展示のお手伝いなどを、地域の方々にご協力いただき実施する予定です。

子どもたちが地域の方々に関わることは、地域の方々にとっても、未来を担う子どもたちの成長を間近で見守り、自らの知識や経験を次世代に継承できるという大きな喜びや生きがいに繋がります。

ぜひこの機会に、食育に関心のある方、子どもたちの笑顔のためにご協力いただける方、子どもたちの学びを一緒に支えていただけないでしょうか。詳細はさくら連絡網で別途配信する案内をご確認いただくか、学校までお問い合わせください。

コーディネーターの方の活躍に感謝しつつ、今後も学校は、地域の皆様と手を取り合いながら、子どもたちと共に、活力ある和光の地域社会を築いてまいります。